

2021年度 事業者防災訓練 訓練課題対応資料（案）

1. 2021年度訓練課題の検討結果

2021年度訓練において確認された課題を下記の4つに分類し、それぞれに対する原因分析、対策を表-1に示す。

- (1) 通報書
- (2) ERC対応
- (3) 現場対応
- (4) 書架資料

2. ERC対応者への情報フロー図に対する自己評価

2021年度の訓練においてはモニタリングデータを防護活動本部、防護隊指揮所及びリエゾンがリアルタイムで共有するシステムを新たに取り入れることにより、ERCプラント班にモニタリングデータを適時提示することが出来た。

ERC対応者への情報フローについて特段の課題は確認されず、有効であることを確認した。

表-1 2021 年度総合防災訓練課題と対策

分類	項目	① 問題点／課題、② 原因、③ 対策
通報書	1) 10 条通報	① ・10 条通報において特定事象に該当した経緯が明確に記載されていなかった。 ・10 条通報で記載した故障機器の応急復旧、拡大防止の措置について誤解を招きやすい記載となっていた。
	パンフレット番号； 16、17	② 通報書に記載すべき情報と記載方法が明確になっていなかったことが原因である。 ③ 通報書に記載すべき情報をリスト化すると共に、情報の記載について誤解を招かないよう例文を検討し、マニュアルの見直しを行う。見直し結果について周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。
	2) 25 条報告	① 25 条報告に記載した事象収束戦略は ERC 以外の受信者にとっては情報が不足しており分かりにくい内容となっていた。
	社外抽出課題	② ERC 以外の機関が必要とする情報に関する認識が不足していたことが原因である。 ③ 25 条報告に記載すべき情報をリスト化すると共に、情報の記載について誤解を招かないよう例文を検討し、マニュアルの見直しを行う。見直し結果について周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。
	3) 警戒事態 該当事象 連絡	① 施設の運転状態について FAX 文だけでは分かりにくい記載（運転中、停止中）となっていた。
	パンフレット番号； 19	② 訓練時の想定は、地震発生前は全施設建屋内で何らかの作業、試験を実施していたが、地震により作業、試験を中断、停止したとのシナリオであった。作業又は試験中＝運転中、作業又は試験中断・停止＝停止中の記載は誤解を招きやすいとの認識が無かったことが原因である。 ③ 事象発生前後の施設の状態に関する記載について、外部から誤解を招かないよう記載方法を再検討し、マニュアルの見直しを行う。見直し結果について周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。

分類	項目	① 問題点／課題、② 原因、③ 対策
書架資料	1) 書架資料 パンフレット番号； 21	<p>① ERC への説明において当社が書画装置で用いた資料と ERC 備え付け資料の突き合わせが出来なかった。</p> <p>② 書架資料には「緊急事態応急対策拠点施設に備え付ける資料」ファイルと「使用施設保安規定・核燃料物質使用許可申請書」ファイルの 2 種類があるが、訓練時に ERC プラント班席に用意されていたファイルが後者の可能性がある。</p> <p>③ 書架資料取り出し時の判別性を考えて、分かり易い背表紙に変更し(例:色のついた背表紙の使用)、差し替えを行う。</p>
	2) 配置図、 系統図 パンフレット番号； 23 社内抽出課題	<p>① モニタリングポストと排気筒の位置関係、給排気系の系統図が書架資料に準備されていなかった。</p> <p>② ・モニタリングポストと排気筒の位置関係については書架資料 1 3 として配備しているが、資料名が「航空写真」となっているため、記載内容が分かりにくい状態となっていた。書架資料の運用に関する認識が不足していたことが原因である。 ・給排気系の系統図は収束戦略を検討するうえで重要な資料であるが、配備していなかったことは書架資料の運用に関する認識が不足していたことが原因である。</p> <p>③ 書架資料 1 3 については資料名を変更する。また給排気系の系統図を書架資料として追加する。</p>
現場対応	1) 保護具装着	① 現場で事象収束作業を行った要員の退出時に汚染検査を行った要員が本来装着すべき保護具を装着していなかった。
	パンフレット番号； 8	<p>② 保護具の扱いについては日頃から教育を実施しているが、汚染防護に対する認識が不足していた。また、汚染検査は複数人で実施するが、保護具の不備をお互いに指摘する意識が不足していた。</p> <p>③ 保護具の装着について改めて周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。</p>
ERC 対応	1) ERC 対応	① 事象発生時刻を一部発話していない場面があった。
	パンフレット番号； 20	<p>② 今回の訓練では電話以外に書画装置を併用して ERC へ情報を伝えたが、ERC 内での情報集約は事業者側の発話情報が優先されるとの認識が不足していたことが原因である。</p> <p>③ ERC に伝えるべき情報・優先度を明確にし、ERC 対応者の補助者がフォローするようマニュアルの見直しを行い、周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。</p>